

国家再建宣言

(MARENA)

主権、繁栄、包摂、そして安定したハイチのために

前文 - 今日のハイチは大きな課題に直面している：政治的不安定、蔓延する治安の悪化、不処罰、汚職、経済不況、極度の貧困、地震リスク、そして環境悪化。数十年にわたり、社会的・政治的な激動が国を容赦なく奈落と混沌へと引きずり込んでいる。

今日ハイチを苦しめる構造的危機の主要な原因は、ハイチ国家の先天的奇形である。その誕生プロセスは植民地政治エリートの行動の意図せぬ結果であり、彼らの当初の意図は国家ではなく保護領を建設することだった。

この先天的奇形は若いハイチ国家に主要な欠陥を刻印している：それは反国家的、性差別的、脆弱、専制的、抑圧的、腐敗し、略奪的な国家となっている。

さらにハイチのエリートたちはサン・ドミンゴの廃墟と灰の上に新国家を建設した。独立戦争とその荒廃による資本、技術、ノウハウの流出、新国家の孤立、当時の植民地主義と奴隷制国家の敵意と妨害、政治エリートの準備不足と彼らの狭い登用基盤、これらすべてがハイチにおける近代国家建設の障害となっている。

一連の経済的・財政的危機、インフレによるグールド通貨の下落、独立の「身代金」、自国民のための補償を要求する西洋列強（ドイツ、イギリス、スペイン、フランス）からの圧力と侵略、蔓延する汚職、密輸、国庫を略奪するための外国商人と高官の共謀、軍事寡頭制内部の競争も忘れてはならない。これらすべてが物理的強制力と課税の二重独占の完全な崩壊に寄与し、**1915年のアメリカ占領**へとつながった。

1915年から1934年のアメリカ占領は、ハイチに近代国家の幻想を創出した。それにより領土空間を占領、管理、組織し、その円滑な機能に不可欠な資源を保有し、国内外の義務を遵守し、大規模な公共事業を実施することが可能になった。しかしこれらの進歩は、人口爆発、自然災害、社会変動、そしてその後の年月における大都市のスラム化と農村化プロセスの複合的影響に耐えることができなかった。

ムラート「国家ブルジョワジー」による全ての意思決定センターの独占、彼らは怠惰で、非生産的、快楽主義的そして買収可能である；投機、競争の妨害、商業独占の創出を通じた地代（農業、商業、金融、採掘）の獲得に基づいた支配的な蓄積モデル；縁故主義、汚職、権力の個人化、そして国家機構に対する小集団の支配といったネオ家産制の慣行の継続は、再び国家の破綻を早める。この反民主的な政治システムにおいて、危機

、クーデター、そして政治的暗殺が真の政治的交代メカニズムとなり、選挙は暴力と汚れた金の分配への報奨に過ぎなくなっている。

後にデュバリエ後の国家の最高レベルにおける蔓延する汚職、密輸、武器と麻薬の密売が、その抑圧的および行政的機構の崩壊プロセスを加速させた。ハイチの新植民地国家は急速に麻薬国家となった。

ハイチの経済的・政治的エリート、そして国際社会はこの災害の共同責任者である。

国家の崩壊、経済の破綻、社会の解体、そしてエリートの迷走に直面して、我々は何をすべきか？

運動.-ハイチ国家救済運動（MOHSANA）は、社会階級、人種、ジェンダーの差異、さらには宗教的、イデオロギー的、政治的な分断を超えて、現在の課題に集団的に取り組むための一般的な集団動員の呼びかけである。

MOHSANAは国家救済のために、集団、国の活力ある誠実な力に訴えかける。それは新しい国家国民の出現にハイチの女性、男性、若者の決定的な貢献のための主要な資産として、ディアスポラを位置づける。

MOHSANAは、ハイチを国内および海外のすべてのハイチ人女性と男性のための自由、機会、連帯、正義、そして幸福の地とする原初の計画への信仰の行為である。

しかしMOHSANAは権力奪取を目指しているわけではない；それは民間社会組織に影響を与え、新しいハイチの到来のために公共政策を導くことを優先的に望んでいる。

MOHSANAは繁栄、主権、連帯、法の支配、良い統治、そして市民参加に基づいた国家救済のための具体的な解決策を提案する。

マイルストーン.- MOHSANAは7つの改革軸に焦点を当てたロードマップを提案している：

1. **国家の安全と権威** - 国家の安全と権威の回復：物理的暴力と課税の二重独占を保證できる自律的、機敏かつ効果的な抑圧装置を国家に与える。国家防衛機構を強化する。治安に対する戦争的取り組みを行い、農村部と都市部に安全なコミュニティを構築する。被害者の保護と賠償を確保する。
2. **政治的ガバナンス** - 政治ガバナンスの刷新：能力と最高の倫理的価値（誠実さ、共和国への忠誠、正義、人権と尊厳の尊重）に基づく過渡的統治を確立し、公共秩序の回復、政治空間の浄化、国家国民の再建の基礎を築くための限定的な任務を持つ。説明責任と監視メカニズムを強化する。特別汚職対策裁判所を設立し、新しいハイチのリーダーシップを促進する。

3. **国家機関** - 国家機関の強化：公共行政の再建と近代化、汚職と不処罰との闘い、そして外部援助からの国家の独立。国内治安部隊の改革。情報、予防、監視、警告、抑圧の要素における国家安全保障戦略の見直しと適用。国家安全保障防衛評議会（CNSD）、国家情報局（ANI）、反ギャング専門の国家検察、特別裁判所などの設立。
4. **法の支配** - 法の支配の強化：権力分立の強化、司法の独立の保証、政治的任務の監視メカニズムの確立のための憲法改正の完了。立法改革の完了、汚職との闘いの継続、不処罰との闘い。武器、薬物、弾薬の密売との闘いの強化。
5. **自己決定と国民的統一** - 自己決定の再確認と国民的統一の構築：外国の後見と干渉を終わらせ、相互尊重と不干渉に基づいた外国パートナーとの関係を再定義する。開発援助の改革。食料主権とデジタル主権への投資。新しい社会契約を共に定義するための大規模な国民会議の開催。移行期正義の促進と、過去および現在の不正義に対処するための真実和解委員会の設立。この国家救済プロジェクトへのハイチディアスポラの参加の活性化。ハイチのアイデンティティの価値向上と保護。ハイチの文化と作品の価値向上。ハイチの有形・無形遺産の価値向上。女性や少女に対する性暴力、ハラスメント、差別を防ぐまたは対応するための措置の実施。意思決定とリーダーシップの場において女性30%以上の最低割当の尊重。国内避難民や国外から追放された人々を身体的、心理的、差別的な虐待から保護し、尊厳をもって生きる権利を尊重する。
6. **青年** - ハイチの青年の動員と教育：国民生活の神経中枢部門における訓練、創造、起業家精神のプログラムによるハイチの青年の動員：人口調査と身分証明、土地台帳調査、技術革新、サイバーセキュリティと人工知能、ハイチ文化の促進、農業産業など。すべての人のための質の高い教育への投資。
7. **経済** - 回復力のある経済の構築と富の共有：レント経済の慣行の打破、地域生産の再活性化、地域とディアスポラの投資の奨励、起業家精神の支援、経済の多様化、公共財政の健全化。農民組織、「マダン・サラ」、非公式セクターの商人のための特定の指導とサポートプログラムの開発。国内生産を再活性化し、輸入依存を減らすための農業、製造業、手工芸への投資。青年の起業イニシアチブの支援。道路の再建、再生可能エネルギー（太陽光、水力）に基づく電力へのアクセス提供による国家インフラの強化。大規模な財政改革の実施。インフレの制御と削減。国家通貨の強化と地域取引におけるアメリカドルへの依存の軽減。採掘、森林、水資源の利用を規制する厳格な法律の採用と遵守、その利益が主にハイチ国民に恩恵をもたらすことを確保する。独立の「身代金」の回収、1914年12月17日にハイチ国立銀行の金庫から盗まれた資金の返還、国際的な組織犯罪から押収された資金、現代のハイチの災害の主役たちの資産凍結などから、武力紛争の被害者のケア、国内避難民と国外から追放された人々の受け入れとサポートを行うための主権的な賠償・再建基金の創設。

結論 - ハイチの救済は外国からも奇跡からも来ることはなく、市民たちの集団的取り組みとハイチのエリートの強固な政治的意志から来るだろう。

このマニフェストは、自由で、繁栄し、独立し、その遺産を誇りとするハイチのための国家国民を再建するための行動の呼びかけである。

ハイチの人々はあなただけを待っている、その革命の創設的な精神と再びつながり、尊厳、繁栄、公平、連帯、そして希望の文字で歴史の新しい章を書くために。あなたは何を待っているのか？